

月々600円で、退職時全額返金の
総合共済へ
 うれしい給付がいっぱい
 結婚 1万円 出産 5千円
 結婚記念日 2万円 など

泉北教育

NO.2005 2015.5.18.
 発行 泉北教職員組合
 〒594-0071 和泉市府中町6-12-2
 0725-41-1953 Fax0725-44-6570
 E-mail senboku@gf6.so-net.ne.jp

国の責任で35人学級を!! 教育予算の増額を!!



2015.2.23
 安倍首相が教育予算は
 175人学級の実現に向けて
 増額努力をされていると表明
**安倍首相
 約束を守って
 ください**

国の責任による35人以下学級は、小学校1・2年生に広がりましたが、未だ、小学校3年生以降への取り組みは進んでいません。しかし、多くの地方自治体では、父母、地域住民、子どもたちや教職員の願いをもとに少人数学級の前進を独自ですすめています。その結果、少人数学級の実

かがやけ! みんなのえがお 署名にご協力を!

施によって、子どもたちによりきめ細やかな対応やより行き届いた教育ができるようになってきています。ただ、このまま自治体の努力に任せるのであれば、自治体間格差が拡大し、教育の機会均等を保障することが困難になることは明らかです。

実現しよう! 35人学級

安倍首相は「35人学級の実現に向けて鋭意努力していきたい」と衆議院予算委員会です。政府は、この答弁にそってただちに、小学校3年生以降の35人以下学級に着手すべきです。

また、貧困と格差の拡大が家庭を直撃しています。就学援助制度への国庫負担金の復活や高校生への「奨学のための給付金」を拡充し、財源を確保するとに大学生を含めた給付制奨学金として確立することで、国の責任で誰もがお金の心配なく安心して学べるようにすべきです。

広げよう! えがお署名

子どもたちのえがおがふれ、豊かな学びができる学校づくりをするため2016年度政府予算にむけた文部科学省概算要求に対する要請署名を広げましょう。

えがお署名にご協力ください
 えがお署名の主な内容
 35人学級を実現するために、教職員定数および障害児学級・学校の定数改善すること
 国の予算を計画的に増額をはかること
 「就学援助制度」の充実と「給付制奨学金制度」の創設すること
 「高校無償化」を復活し、公私ともに学費の無償化を前進させること

教育予算をOECD平均並みにすれば 8兆円~10兆円もの予算増に



国の責任で35人学級を!!

2013年度から国は少人数学級前進を見送っています

日本	小3~中3まで	40人
	小1、小2 (※小2は予算措置のみ)	35人
イギリス	初等学校1~2年	30人
ロシア	初等・中等学校	25人
ドイツ	初等教育基礎学校4年まで	24人
アメリカ ケンタッキー州	就学前教育~第3学年まで	24人

文科省「教育制度の国際比較」(2013年度版)より

子どもたちのための最善の教育条件を確保するために泉北教組はがんばります。